

会報

第663号
2021年6月
札幌友の会

2021年度 札幌友の会のテーマ
・創立90周年
・友の会の志をつないでいく一人ひとりに
・どの年代も生き生きと 友との交わりを大切に
通読本 羽仁もと子選集「人生の朝の中に」

6月23日現在	会員数	661人
会厚	別	53
新札	札幌	53
平岡	石	41
白	岡	60
羊	丘	49
豊	平	49
	山	48
	央	49
	山	52
	鼻	53
	山	42
	内	45
	苺	54
	信	8
		5
3月末より10人減		

札幌友の会創立90周年

創立者の思いをつなぐ一人として

総リダー 北島 美地子

さわやかな風が吹く5月18日に、オンライン全国大会が開かれました。発表者や出席者の表情がよく見え、全国から、世界から、この日を心待ちにしてきた喜びが画面越しに伝わってきました。

さわやかな風が吹く5月18日に、オンライン全国大会が開かれました。発表者や出席者の表情がよく見え、全国から、世界から、この日を心待ちにしてきた喜びが画面越しに伝わってきました。

大きな愛へ、という言葉に置き換えると、「小より大へ」ということが身近に感じられます。できることは、あちらこちらに転がっていて、何かを始めてみたくならないような気分になるのが不思議です。

聖書からヨハネによる福音書13章34〜35節の「あな

著作集の中で、「早起きはいけれど辛いなというのは、従来の習慣と、進歩を希う心との間に、誰でも経験すること」と書いてあります。私の生活を振り返る時、「健康に過ぎませんよ」と言いながら、夜遅くまでダラダラと起きていたり、「プラスチックを減らそう」と呼びかけながら、いつまでもおにぎりのラップをやめられない自分に思い当たります。言っていることとやっていることの違いにばかり目がいきませんが、私の生活の中にも実

今回の全国大会で、活動の中になくはならない大事なものの、情熱、祈り、愛ということが確かめられ、よいことに向かっています。いという気持ちを強くしています。

山崎みどりさんの礼拝は、全国友の会創立の翌年に開かれた「家庭生活合理化展覧会」の話から始まりました。91年前に、2年かけて全国を巡回、55万人の入場者があったというこの展覧会。スケールの大きさに驚くだけでなく、家庭の主婦達の溢れんばかりの熱量を感じずにはいられません。また、私が過去2回出席した全国大会の礼拝でも、こ

音書13章34〜35節の「あな たがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい」という言葉を引用され、「新しい掟とは愛。愛を持って仲間と続けること、それが大事と思つてほしい。それが友の会の出発点であり、小より大へです」と呼びかけられました。私達ごみ の問題、排水のこと、CO2排出量の削減、時間のこと、家計簿など、毎年のよ

各個人の合理的な生活、人の世の最も小さき一社会であるところの家庭生活の合理化、続いて大いなる社会の合理化、小より大への順序において、小は大をつくり、大はまた小を助けて、合理的な生活が築かれつつ、その上に打建てる文明も、本当のものになってくるのだと思います。

「生活合理化」
真理のかがやき

2021年度 全国友の会大会

主題 愛と協力の社会をめざし

真の合理的生活を広める

5月18日(火) オンラインによる開催



開会式 各地友の会代表点呼
大会成立

礼拝 山崎 みどり

讃美歌 27番 291番

聖書 ヨハネによる福音書
13章34〜35節

リーダー抱負

婦人之友社より

自由学園より

会員数の報告から

響き合う交わり

各地の活動から

SDGs 私たちの実践

子どもの笑顔が

あふれる社会に

経済の報告

中央部会計

われらの公共費 協力経済

公益財団法人全国友の会

振興財団から

閉会式

全国友の会中央委員承認

「友の国」合唱



自由学園記念講堂
大会を行う会場

出席者

総リーダー	北嶋美地子
厚別方面リーダー	梁田 恵子
新札幌方面	水野 由実
平岡方面	小川 利恵
白石方面	岡本真由美
羊が丘方面	横山 成子
豊平方面	佐藤真知子
西方面	和田 紀子
三角山方面	佐々木直子
中央方面	広瀬かずみ
円山方面	渡部 祥子
山鼻方面	深澤 二美
桜山方面	由利 綾子
真駒内方面	門脇ますみ
幼児生活団指導者	永川 志織
講習部リーダー	小佐野志住子
広報部リーダー	阿波加寿美代
中央委員	花谷 雅子
中央委員	佐藤美保子



家庭生活
合理化展覧会
(1931年)



《全国大会に出席して》

礼拝

感動した全国大会

新札幌方面リーダー

水野 由実

各地の総リーダー点呼が始まった。北海道が終わり東北九州、沖縄と「今、日本が一つ」とボルテージ上がっている。さら更にロンドンやサンパウロなど海外にまで続き「えっ、ブラジル、今ロンドン真夜中だよね」そして間髪入れずに「ここに全国友の会大会が成立致しました」との宣言を聞き、そのスケールの偉大さの中にこれから自分も参加するのだと、とても身が引き締まり、そしてワクワクした。その気持ちのまま礼拝に入り、讃美歌が始まり「今、世界の1149人が一緒に歌っている」と思うと涙がどつとあふれてきた。

「何の大会に出席していいのか」という疑問に山崎さんは『友の会だけが良いことをしているわけではない。何か行事をした、しなかった、そんなことではない。二人以上で友の会はできる。お年寄りでも、泣きぐずっている子どもでも、交通整理のおじさんでも、隣の人に声をかけることなど日々の生活の中に必ずできることがある。それが愛のある建設』と話してくださった。私には信念とか情熱が足りないとしぼんでいたが「何も大きいことをしようとしないでいいんだ。本当に小さなことができるからいいんだ」と心から思えた。そして全世界に会員1万5千人以上もいるのだから、すそ野は限りないじゃないと希望を持った。

小さな行動でも

大きな力に

円山方面リーダー

渡部 祥子

今年で入会して10年が経ちます。乳幼児、生活団と8年間子どもを連れて活動に参加していました。その時期は子どものために友の会活動をし

ている気持ちが強くと、忙しくても「子どものため」と思っていました。2年前に長男が小学校に入学して「何のために？」と考えることが増えました。「自分のために」時間を使っているという気持ちが強くと「これでいいのかな？」と思う時も度々ありました。今回、全国大会に参加し、自分の小さな行動の一つ一つが社会、そして次世代を考えた行動で、自分の家庭のためだけにしてきたことではないことを改めて実感しました。

山崎みどりさんが力強く伝えられた『グループでやれば良いのです。1回、2回失敗したくらいで諦めないことです』という羽仁先生の言葉を聞き、私は方面の活動のことを思い出していました。方面では、プラスチックフリーの一つとして、調理ごみを乾かすことを続けています。私も継続していますが、皆とやらなければ、「一人でやっても意味ないし」ときつと思ってしまうと思います。

共に励む仲間が集まれば、一人ひとりの小さな行動でも大きな力になり、それが環境

のため、次世代のためにつな
がっていくことを感じられて
いることは大きな恵みなんだ
なと思えました。これからも
目の前の小さなことからこつ
こつやっつけていこう、それが未
来につながっていくと信じて
歩んでいこうと思えました。

生活合理化をめざして

桜山方面リーダー

由利 綾子

礼拝の中に1931年の婦
人之友に東京市の職員との
「ごみの座談会」の話があり
ました。当時ごみは、燃える
物も燃えない物も一緒に捨て
られており、清掃員が手を入
れてごみの中からビンや缶を
取り出していた。羽仁先生が
「人にさせてはいけない。箱
をつくり、捨てる人がビンや
缶を分けたら良いではないか
なにより人道上からです」さ
らに「1回2回失敗したくら
いでどうして駄目というので
すか!」と語っている。私
は、羽仁先生は、清掃員の人
権を大切にすべきだという
ことと、ごみを出す人の責任
を言いたいのだと思えました。
合理化とは理にかなったこ

と。根本を知り、どう解決す
るかを考え実行することであ
り、その根っこには、自然や
人への愛があつてのこと。
今、札幌友の会で、取り組
もうとしているSDGsは、
まさに「生活合理化」そのも
ので、目指している方向は確
かなのだと思えました。



**リーダー抱負から
コロナ禍でも前向きに**

山鼻方面リーダー

深澤 二美

今の時代に合った友の会は
どんなものか、方面の方々と
考えることが今年のテーマで
す。大会もその視点から聞き
ました。でも、考えが古く、
友の会の枠に囚われていたの
は、私自身でした。なんでも
思ったことを、できることか
らやってみればいいのです。
大会から、厳しい時でも情熱
が状況を変えていく、工夫が
生まれる、友の会の前向きさ
と、80代、70代会員の強い思
い、柔軟な発想が心に残りま

した。

サンパウロ友の会では平均
年齢が80才近くでありながら
一般ブラジル人女性に羽仁も
と子先生の精神と生活の知恵
を分かち合いたいと生活展を
開く夢をもって努力する姿に
すごいと思えました。東京第
四友の会のkakeri+の報告で
は「80代の会員が使つて広め
なければ未来に続かない」と
そのエネルギーに驚きました。
本来、友の会は自分達の生
活の改善、工夫を共有し、励
む場であり、教えてもらう場
ではありません。その関わり、
生活勉強、どこからでも深い
学びがあると、大会であらた
めて感じました。山鼻方面み
んなで何ができるか、これか
らの活動が楽しみです。

婦人之友社より

**心豊かな暮らしの種
三角山方面リーダー**

佐々木 直子

編集長の羽仁曜子さんはお
話の中で「これ以上、自然環
境に負荷をかけない社会を次
世代に渡したい、心豊かな暮
らしを重ね、その種をまくよ

うな記事をつくっていきたい」
と話されていました。婦人之
友で3年前から始まったプラ
スチックフリーの特集をきっ
かけに、方面で勉強し、我が
家でも親子で楽しみながら挑
戦しています。子どもは将来
プラスチックを減らす研究者
か、エコ商店を開きたいと言
うようになり、子どもからも
刺激を受けています。
6月号に掲載された三角山
方面の成田さんの記事「コロ
ナ禍、食費を見直す」を方面
のみんなで読みました。その
後、若い会員から買ひ物の仕
方を工夫したと報告があり、
私も3日分の献立を立てるよ
うにしたら夕方の時間に少し
余裕ができてきました。
記事を読んで生活が変わり、
読者の生活によつて記事がで
きる、読者と共につくる雑誌
なんだなと実感します。自分
達の生活から良い社会へと願
う友の会活動と重なります。
みんなでもっと一緒に読んで
いきたい
と思います。



著作集に書かれて
いる大芝生

会員数の報告から

あわてず一歩ずつ

中央方面リーダー

広瀬 かずみ

今回初めて参加して、特に
心に残ったのは、武生友の会
の6人の入会があつた話です。
調理実習しか興味のないお客
様に、ずっと声をかけ続け、
友の会の良さが伝わり入会に
至りました。
以前知人がよその友の会に
お客様で参加して3回目くら
いで入会するかしないか決め
るように言われ、迷つてやめ
た方がいました。その話を聞
いて興味があるお客様なのに
もつたいなあと思いまし
た。相手の気持ちをまず受け
止めながらコツコツ良さを素
直に伝えていくことが大事だ
と思います。
私は4年間友人を家事家計
講習会や小学生Gに声をかけ
続け、年に一回のペースで参
加してくれて昨年入会に至り
ました。私自身友人だからこ
そ義理で入会して欲しくない、
納得して入会してほしいと願っ
ていました。即入会でなくて

も友の会に触れて気持ちや子育てが楽になる人が増えていくだけでも立派な活動だと思えました。

この大会で、こんな時でもできることが必ずある！を全国から伝えて頂きました。方面の人達と共にあわてず一歩ずつ気持ちを通じ合いながら歩んでいきたいです。

各地の活動から

子どもの自立を応援して

平岡方面リーダー

小川 利恵

大会プログラム「在会70年の方」にいつも笑顔で集まりに参加されている同じ方面の三山孝子さんのお名前があった。「友の会は、自分だけではなく世の中の全ての人が良くなるようにと祈りと願いをもって生活をするところ」と私達に伝えてくださる大先輩が方面にいてくれることがありがたく、嬉しい。「恩返しではなく恩送りをしたい。恩送りとは、その人に返すのではなく、次世代につないでいくことだ」という土浦友の会の言葉がスツと心に入った。

また島原友の会の報告から

子ども食堂でボランティアをされている人の話の中に「一緒に作り、一緒に食べる。これは何でも買えば揃う世の中だが、子ども達と一緒に食材を育て、食事を作る、そして食卓を囲むことで『子どもの自立』にもつながる」と聞き、我が家の二人の娘のことが頭に浮かんだ。「家族のためにできることを一つでもいいから子どもに任せてみて」と最寄の人に言われ、今まで幼いころから親子で一緒に続けてきたことで、私が疲れて横になつているとケンカしながらも協力して夕飯を作ってくれることもある。

買えば済む、与えればよいということではなく、親が子どもと何かを一緒にすること、過ごすこと、任せることが大切なんだと実感した。



羽仁もと子記念館

六月例会に出席して

山鼻方面 中西 章子

スマホなど機械が苦手な私は、例会は会報を読むことで参加と思えました。その後最寄や方面の人達の協力があつて、オンライン参加ができるようになりました。

例会では自由学園の映像や大会の報告を直接聞いて、とても熱い気持ちになりました。つながるっていいですね。温かくてジーンとききました。離れたところにいる人とも、出かけることが難しくても、皆さんの元気な姿も見られて嬉しかったです。

六月オンライン例会

六月三日(木)

司会 梁田(厚別方面リーダー)

讚美歌 二七番 友の国

読書 「生活合理化」

く真理のかがやき 総リーダー

二〇二一年度

全国友の会大会報告

水野 由利 渡部 佐々木

岡本 広瀬 横山 小川 深澤

二〇二一年度

全国子ども研究会 出席者紹介

安全で美味しい

寧楽の豚肉を食卓に

家計簿つけましょう

七月例会のお知らせ

新入転入お客様紹介

実務報告

実務 山鼻方面・広報部

ピアノ 和佐(西)

出席者222名(34%)

☆7月オンライン例会

7月は札幌友の会の誕生月です。創立者の人生をたどりながら、これまでの歩みを振り返ります。

- ・ 7月1日(木) 10時半～
- ・ 7月3日(土) 10時～

読書「思想しつつ 生活しつつ 祈りつつ」
羽仁もと子選集 「人生の朝の中に」

札幌友の会創立90周年

☆婦人之友を読む会

・ 7月1日(木)

例会後 午後1時半～3時

婦人之友、明日の友 かぞくのじかん から
心に残った記事を語り合ひましょ
(出入り自由、少しの時間でも参加してください)

講習部 オンライン講習会のお誘い

講習部リーダー 小佐野 志住子

会えない中でも活動できるようにと願ひオンラインで講習会を始めています。基本のことから丁寧に、今更聞けないと思うことも声を出せる場です。行き交いをしながら楽しく進む参加型で7月からは実習も始まります。

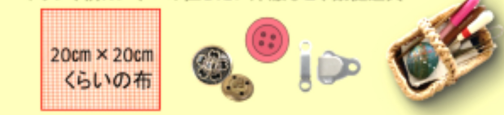
どうぞご参加ください。詳しくはホームページをご覧ください。

手を動かす会

楽しい針仕事オンライン講習会Vol.2
「ボタンをきれいに丈夫につけましょう」
日時：7月14日(水) 10時半～11時半
講習料：300円 定員：30名

下記を用意して参加しましょう

ボタン、前カン、つけ直したい洋服など、裁縫道具



20cm x 20cm
くらいの布

申し込み締め切り 7/6(火) 竹井まで

夏休み
おうち時間をたのしく

生活工芸

「身近なものを使って
親子でスタンプング」
日時：7月28日(水)
10時～11時(無料)
申し込み締め切り
7/20(火) 村田まで

ウェルネス倶楽部

心と体の健康維持のきっかけ作りに
自宅でできる運動と食のお話
日時：7/28・8/25・9/22・10/27
いずれも水曜日 14時～70分
講師：藤田まゆみさん(厚別方面)
講習料：4回で1500円
申し込み締め切り 7/20(火)
小佐野まで

友の会と共に70年を歩んで

昨年、全国友の会創立90周年記念大会に在会70年の会員が招待される予定でしたが、コロナ禍のため叶いませんでした。今年の全国大会で配布されたプログラムには「2020年度在会70年会員」として札幌からはお二人のお名前がありました。お二人とも小樽友の会青年班で入会されました。「友の会とは何ぞ」と問い続け祈り続け、友の会会員として誇りを持って先を歩んでくださったことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

今の気持ちを寄せてもらいました。また、過去の資料から足跡の一部をご紹介します。

総リーダー 北島 美地子

みつやま
平岡方面 三山 孝子さん(1942年入会 98歳)

物のない時代、子ども達の服はほとんど作りました。布を見つけてきては三人おそろいを縫い、編み物も頑張りました。本が好きで婦人友友は毎月が楽しみでした。目新しく、進歩的な考え方に刺激を受けました。総リーダーが全国大会があるけれど行きたい人は手を上げてと言われ、思わずすつと手を上げ、行くことが決まりました。今なら幼児がいると一瞬とどまりそうですが、そのときは行ってみたい思いが先に立ちました。最寄りの人たちに沢山助けてもらい出かけることができ、感謝でした。

長い友の会生活の中で一番大切にしてきたことは食事です。魚・肉1豆1野菜4を目標に、できないながらもやってきました。友の会で忙しくやってきたことが今の自分につながっていると思います。何より思いを同じに、一生懸命な仲間を支えられてここまで来ることができたのは、皆さんのおかげと感謝しています。5年前に夫、娘夫婦と一緒に八戸の「羽仁もと子記念館」に行けたことは、感慨深いものがありました。私は98才元気に過ごしております。(次女の平岡方面 氷見裕子さんが、聞いてくれました)

円山方面 宮町 久美さん(1949年入会 90歳)

△お手紙から▽
車椅子になって四年、多くの人の助けの中で過ごしています。右眼は失明、左眼は医学の進歩でかろうじてまだ見えています。すべてのものが取り去られても貴女は神を信じますかと問いかけています。
7年前初めて全国大会に出席した時、羽仁先生は、小さい体に着物姿でステージを行ったり来たり、時にはステージから降りて皆の中に入り、「このことがわかるか」「このことは大事なことだよ」と熱心に問いかけられておられた姿が浮かびます。羽仁先生にお目にかかったことがある人も少なく、創立者とふれることがなくなつた今、著作集を深く読み、今の時代に何をすべきか、たずねる心を強くしたいです。



会報2008年9月号より

△全国友の会創立80年に向かって 共に歩む人として▽
生命を終えられるまで造られたる者としての道を生涯歩まれ、その生きた言葉が詰まっている著作集をもっと身近なものとして読みたい。集まりで読む所をを通してただだけではなく、生活して生きた真実な気持ちを話し聞き合える読書がもっと出来ると良いと願われます。そのゆとりを生活の中に持つことは生き方の急所です。(中略)
私達には今、この時代から出されている数々の宿題があります。同じ時代を共に生きている者として、一人ひとりの自由に任されている時間を共に気前よく出して生きていきたい。どうか見えざる方から問いかけられていることが、聞こえますように。次の時代の為にじっくり根を張る生活を共にしていきませんか。△一部抜粋▽

宮町 久美

婦人之友 昭和27年7月号より

3つの世代にわたる

全国主婦座談会

★若い主婦たちは語る★
力を育て社会のために役立てたい



三山さんは全国大会に出席後、婦人之友の座談会に参加されました。



生活部

『家計簿』
自分の続けられる方法 見つけました！
生活部 松岡 辰美

どんなに忙しくても食事はするし、お風呂にも入るのに、たとえ時間があっても家計簿をなかなか開くことができなかった私。記帳はまとめてするのでいつも大変な思いをしていました。もうそんな生活にさよならしたい！そこで負のスパイラルから抜け出すために考えました。5年前のマイルールです。



***完璧を最初から目指さない！**
例えば・
・副食物費・主食費・調味料費を分けずに記帳
・預貯金欄や剰余累計はとりあえず空欄のまま
・現金合わせには目をつぶる …などです。
この年はいつもより気持ちが楽になり、何とかつけ通すことができました。「これなら続けられるかも」次の年には主食費・調味料費を振り分けて記帳してみたくなり、2年前には現金合わせもできるようになりました。

次は、副食物費の中身を知りたくなってきました。ちょうどその頃kakei+アンバサダーの声がかかりました。せっかく慣れてきたのに新しいことを始めるのは不安でしたが、やり始めてみると「えっ、なんか楽かも」副食物費の消費税も自動的に計算してくれるし、グラフで予算と照らし合わせて見る事もできるなどkakei+をきっかけに面倒だった副食物費の内訳も楽々入力できるようになりました。

私にとってkakei+は自分が苦手な部分を補ってくれるサポーター的存在です。
今年の生活のテーマ

SDG s 始めよう続けよう
共にめざす家計簿記帳から適量の暮らし

まずは始めること！そして続けること！せっかく、始めることができても続けることは難しい。だからこそ共にめざす友がいます。家計簿記帳を続けることで適量の暮らしが見えてきます。それが、SDG sにつながっていきます。そう考えると家計簿記帳が世界を変えることになりませんか？

「さあ、みんなで家計簿をつけましょう！」

奉仕部

安全で美味しい豚肉を食卓へ
共働学舎肉リーダー

湯浅 由美子

寧楽の豚は人が住めるくらい快適な豚舎で北海道産の小麦を食べて抗生物質を使わず、飼育期間も通常6カ月のところを8カ月かけて大切に育てています。豚肉を市場に卸すと価格は生産コストとほぼ同じで利益はほとんどありません。友の会では寧楽の経済的な自立を手助けするため、30年前から大きなままの枝肉を自分達で切り分けて買わせてもらっていました。昨年からは新型コロナウイルスのため友の会に多くの人を集まれなくなり、肉切と挽肉作りを寧楽でもらい、冷凍して届けてもらっています。

自由売りができなくなり、注文量も前より減った分、今まで8月と1月は休んでいたのを毎月届けてもらっています。現在は注文に合わせて豚を精肉加工して札幌や各地の友の会に販売しています。毎月の注文が安定しているので大きな安心につながっています。

私達が毎月豚肉を買うことが寧楽を支えて自分達の食卓も豊かにしてくれます。新しい肉の注文紙が最寄りに届いていると思います。寧楽の美味しい豚肉やソーセージ、ベーコンをもっとたくさんの人に利用してほしいです。申し込みは最寄リーダーまでお願いします。

8月から新しい注文の豚肉が届きます
＜税込み 100g 単価＞
挽肉 170円
本ロースブロック 216円
ももブロック 211円
肩ロースブロック 248円
バラブロック 211円
※スライスもあります
・安心安全
道産小麦を食べ、抗生物質を使っていない
・エコ消費
家畜にとって快適な飼育環境で育てられたお肉を買う
(婦人之友7月号)

子どもが大好き 肉みそ

- ＜材料＞
挽肉 500g
みそ 100g
砂糖 大さじ2と1/2
酒 大さじ2と1/2
生姜 2片みじん切り
油 大さじ1

- ＜作り方＞
鍋に油をひき、生姜を炒め、挽肉と酒を入れ炒める。さらに砂糖、みそも入れポロポロになるまで火にかける。

アレンジいろいろ！
・ふりかけ・卵焼き・三色丼・ジャージャー麺
・豆板醤を入れて担々麺やマーボー豆腐・ナスのみそ炒め
・レタスで巻いても美味しいよ。

※小分けにして冷凍しておくと便利



札幌友の会創立90周年 「最寄と私」



*札幌友の会創立90周年を記念して、2021年1月に74の全最寄と木苺グループから「最寄と私」を寄せてもらいました。(最寄名は、2020年度在籍最寄です)

最寄の中で成長したい

羊が丘方面 真栄最寄 吉田 尚美 40代

何でもパッとできない私は、いつも友の会の宿題や提出物を仕上げるのに時間がかかってしまう。ギリギリになった時に、最寄の人達から「無理しなくても大丈夫だからね」との言葉に甘えてしまったり「出来る所まで一緒にやってみよう」と励まされると、もう少しがんばってみようという気持ちになる。

子育て真っ最中の私は、人からほめられる機会が少ない中で、最寄の人達から「すごいねがんばったね」と言われると素直にとてもうれしくて、またやってみようという気になる。

ほめられたり、子育ての話聞いてもらったり、時にはお尻をたたいて私のやる気を出させてくれる最寄の人達。ホッとできて、あたたかな気持ちにさせてくれるこの最寄の中で、私も少しずつでも成長していけたらなと思う。

今 恵みのとき

西方面 清流最寄 鈴木 玲子 60代

家族に「最寄」をどう思っているか聞いてみると夫「生活のみちしるべかな」二女「最も身近なコミュニティ。家庭内の膨大なタスクをこなすにあたり、有益な情報交換、年齢層のメリット、身近なエリアのためコンタクトを取るのが容易。現代はSNSなどでコンタクトを取ることはできるが、対面から得られるコミュニケーションはSNSではカバー出来ないものもあると思う。個の生活様式が拡大するにつれて、専業主婦や子育て世代は孤立してしまう部分もあり、最寄はそういう部分もカバー出来る場だと思う」

私は20代で友の会に入会、その後二女出産、私の入院、30代後半仕事につき、以後最寄には出席出来ずにいましたが、私の中にはいつも最寄がありました。

子育て、病気など、私の状況を受け止め、応援し見守ってくれる優しさ、暖かさが最寄にあり、家族にとって最寄は、信頼できる慕わしい場所でした。

65歳で退職、最寄に出席出来るようになり、先輩や新しい会員が、真摯に生活や家計簿に向き合っている姿にたくさんの刺激をもらい、弱さゆえ、自分中心になりがちな日々の生活や自分の性格を受け入れながら、最寄の友と一緒にこころ豊かに歳を重ねたい。

慕わしいところ

豊平方面 美園最寄 春野 八重 90代

友の会創立の年に生まれた私は90才となり、友の会歴は55年経過、美園最寄から動いたことはなく、美園には公務員宿舍が有り転勤族の多い地域で2、3年住んだら居なくなり、空しく思えた時期もありましたが、その先々で元気で活躍してくれればと交わりも自分から正直に出し厳しいことも遠慮なく言い合い仲間を信じて、心底は優しく接し、一人ひとりを大切に好ましく思える様になりました。

私は委員会に20年位在籍し、先輩にも本気で付き合ってもらい育てられました。主に生活部の衣の係と常設講習部に長くいて持ち数調べ、初めての粉石鹸の使い方、セーター洗いの実験や研究を通し自分の生活も変わりました。友の家建設で会債の返済の為に相当忙しい生活をしましたが、矢張り最寄が一番の基盤で、個々の生活の見える処だけに休んだことはなく、年々の最寄講習会、方面の皆と芝生で布団の綿入れ、お茶会と、多勢の友が集まってくれる我が家となり、自分の生活も公にし、少しは友の会の使命に近附けられたと思っています。

暮らしと気持ちを支えてくれた最寄

三角山方面 文化通最寄 新田 真理子 40代

私にとって最寄はしんどい時に支えてくれるところです。

昨年はコロナ感染、親族の不幸が重なる等、自分にとって辛いことの多い年でした。コロナ禍の自粛で集まりが殆んどできない一年でしたが、久しぶりに再開した最寄で先輩達からあたたかい言葉をもらいました。その時に、今までも子育てで行き詰った時や引越で焦っていた時に、最寄の先輩達に支えられていたことを改めて思い出しました。

集まりの中で、生活時間やバランスの良い食生活、暮らしの大切なことを、体験を通してたくさん教わりました。自粛になったことで、それが貴重な時間だったと実感しています。最寄での経験から、暮らしに「軸」が少しだけ出来てきたように思います。集まることは難しい日々ですが、先輩達から教わったことを家庭の中で実践していきたいです。

出会いに感謝

中央方面 西円山最寄 青山 秀美 40代

私が友の会の最寄会にお客さんとして初めて参加したのは4年前、名古屋に在住のときでした。参加している人は皆他人なのに、家族のような温かい雰囲気のあることに、驚き感動したことを今でも鮮明に覚えています。その後入会してすぐ、夫の転勤に伴い仙台へ転居し、私は仙台友の会に入会し、その2年後、札幌友の会に入会しました。転勤族の宿命で、お世話になった友の会を去るのは寂しいのですが、新たな場所でその土地の友の会と最寄が待っていて下さることは、本当に有難く心強いです。

私にとって最寄は、家族のようなものです。コロナ禍でここ1年以上帰省できず、実家の家族や友人に会えない状況、友の会の活動も自粛が続く状況は、苦しく試練です。そんな中でも最寄や方面の方々と少しずつながらも関わりを持ち、声をかけていただけることは心の支えであり希望です。出会いに感謝し、今できることをやっつけていこうと思います。

自分の戻る場所

山鼻方面 旭ヶ丘最寄 北谷 涼子 60代

私は友の会に入会して30年余りになります。32才の時に近所の方に紹介され最寄会に参加することが始まりでした。当時の私は、家事や育児に振り回され何をしても自信が持てない生活を送っていましたので、友の会の衣食住の勉強は刺激的でした。自分も家族に気持ちの良い生活を送らせたいとの思いでした。最寄の人達は、細々なことも丁寧に根気強く関わってくれました。また、読書を通じて人の意見を聞くことも新鮮で、各自が自由に考えを述べる事が出来る温かな雰囲気は友の会独特なものであると感じました。

事情により20年ほど友の会の活動から離れましたが、退会を選ばなかったのは、都合の良い考えですが最寄の人達とつながっていたいとの思いからでした。最寄の人達は、何かと声を掛けてくださり、私は「自分の戻る場所がある」と思うことができました。再び参加し始めた最寄は、初めて会う方もいましたが、いつもの友の会の最寄でした。何より皆さんがお元気で良かったです。

最寄を一房のぶどうとして

円山方面 裏参道最寄 吉岡 知子 70代

私は最寄リーダーを受ける時必ず思い起こす聖書のことばがあります。

「わたしはぶどうの木 あなたがたはその枝である 互いに愛し合いなさい」

3年前最寄で若い人からラップ類の予算はどうしているかと質問があり、皆でプラスチック類を使わない工夫を出し合う勉強が始まりました。昨年2月13日に実現した依頼講習会で、実習と最寄勉強からのプラスチックフリーの発表は、お客様から次々に質問があり活発な話し合いが出来ました。今年の冬休みは方面皆で自分で出来るプラスチックフリーに取り組むことになりました。方面、最寄で集まって話し合うことは出来ませんが、LINEが生活勉強の大きな助けになっています。私達に何が出来るのか暮らしの中を丁寧に探していくことが豊かな実につながると感じます。最寄を一房のぶどうに思うと一人ひとり個性があって当たり前、お互いに信頼し合う気持ちが大切だと思っています。

最寄の人達に助けられて

桜山方面 いずみ最寄 太田 雅子 70代

札幌に移り住み2年程経った頃です。近くに住む会員の方に誘われて、初めて参加した集まりが友の会の最寄でした。同じ1歳の子どもがいて嬉しかったのと、読書の後にお料理や家事の工夫など色々教わり、最寄の日を楽しみにしていたのを覚えています。

その後、引っ越して2女が生まれ3人の子どもの育児と家事の日々に追われていました。そんな時でも最寄ができたのは、リーダーさんが始まる30分前に来て掃除機をかけて、山のような洗濯物をたたみ、ワイシャツにアイロンまでかけて手伝ってくださったからです。プレゼントにと持参したアイロン台は古毛布で作った手作りでした。

今まで、友の会を続けられたのは家族の理解と協力ともありますが、最寄の人達の助けもあります。そして、現在は最寄では最年長です。足腰が衰えて外出が困難になると買い物をお願いしたり荷物を運んでもらったりと、優しい最寄の人達に感謝して過ごしています。